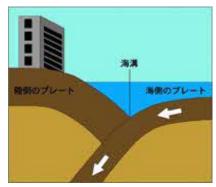
# 1 地震

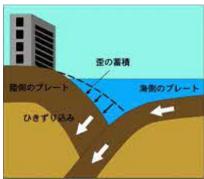
地震はあらかじめ防ぐことはできません。しかし、日頃からの地震に対する対策や心構えを身につけることにより被害を最小限に抑えることができます。

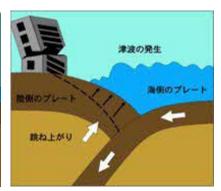
## 地震はどうしておこるのでしょうか?

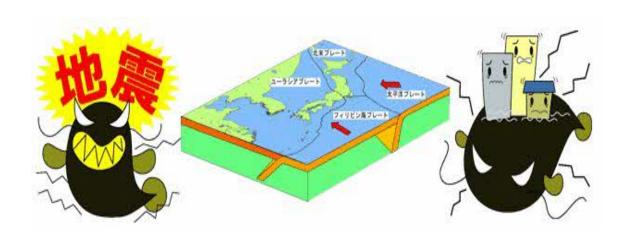
(札幌管区気象台提供)

地球の表面は10数枚のプレートと呼ばれる岩盤で覆われており、1年間に数cmというゆっくりとした速度でそれぞれが別の方向に動いています。そのためそれぞれの境界ではプレート同士が衝突したり、ずれあったり、一方がもう一方の下に沈み込んだりしています。日本周辺では海のプレートが陸のプレートの下に沈みこんでおり、このようなプレートの境界では巨大地震が起こります。さらに、この沈み込みによる力は、陸のプレートの内部にも影響を与え、陸域の浅い地震を発生させるのです。









### 震度別による感じ方は?

(札幌管区気象台提供)

震度とは、地面の揺れの強さのことで、全国にある震度計ではかります。震度は「震度O」から「震度7」まであり、その中でも震度5と震度6は、同じ震度であっても被害状況の幅が広すぎたため、「震度5弱」と「震度5強」、「震度6弱」と「震度6強」に分けて、全部で10階級にしています。





[人間]人は揺れを感じない。



[人間]屋内にいる人の 一部が、わずかな揺れ を感じる。



[人間]屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。 眠っている人の一部が、 目を覚ます。 [屋内]電灯などのつり下 げ物が、わずかに揺れる。



[人間]屋内にいる人の ほとんどが、揺れを感じ る。恐怖感を覚える人も いる。

[屋内]電灯などのつり 下げ物が、わずかに揺 れる。



[人間]かなりの恐怖感 があり、一部の人は、身 の安全を図ろうとする。 眠っている人のほとん どが、目を覚ます。 [屋内]つり下げ物は大 きく揺れ、棚にある食り きくば音を立てる。座りの 悪い置物が、倒れることがある。



[人間]多くの人が、身の安全を図ろうとする。 一部の人は、行動に支障を感じる。

[屋内]つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。



[人間]非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。

[屋内]棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。

### 震度6弱



[人間]立っていることが困難になる。 [屋内]固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。

### 震度6強



[人間]立っていることができず、はわないと動くことができない。 [屋内]固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。

### 震度7



[人間]揺れにほんろう され、自分の意志で行 動できない。

[屋内]ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

## ● 悪口 ■ えておごう

### ●室内の安全確保



- 家具類の転倒防止をしておくとともに、高いところに重いものを置かないようにしましょう。
- 寝場所の近くや玄関などに転倒の恐れのあるものは置かないようにしましょう。
- ガラスにはフィルムを貼っておくなどの破壊飛散防止をしておきましょう。
- スリッパや懐中電灯を手近なところに用意しておきましょう。



### ●家の中にいるときは



- 揺れを感じたら、あわてて外にとび出さず、まず座ぶとんなどで頭を守り、丈夫な机やテーブルなどの下にかくれるなど、身の安全を守りましょう。
- 使用中のガス器具、ストーブなどは、素早く火を消しましょう。
- 中高層住宅(マンションなど)では玄関ドアや避難通路の戸を開け、出口を確保しましょう。

### ●外出しているときは

- 塀や自動販売機などのそばから素早く離れましょう。また、看板などの落下物から頭部を守るようにしましょう。
- 窓やショーウィンドウなどのガラスの破片、看板や壁面の落下を避け、建物から急いで離れましょう。
- 電車、バスでは乗務員の指示に従いましょう。また、駅、列車内にいるときは線路に入らないようにしましょう。
- デパートやスーパー、ホテル、地下街などの大勢の人が集まる場所では、階段や非常口に駆け寄らず、係員 の指示に従いましょう。



### ●車の運転中では

■ 地震を感じたら左端に寄せて停車し、カーラジオで情報を聞き、規制に従って行動しましょう。